

教育行政報告

次に、最近の教育行政について報告いたします。

○ 子どものつどいについて

3公民館では、冬休み中の小学生を対象に「子どものつどい」をそれぞれ実施いたしました。

1月8日の金浦公民館には35人、9日の仁賀保公民館には24人、10日の象潟公民館には45人の児童が参加し、地域で活動する方々から凧や紙飛行機づくり、つるし飾りづくりなどを教わったり、卓球、ミニテニス、eスポーツなどを一緒に楽しみました。

この事業は、地域住民と子どもたちの貴重な世代間交流の場として、また、新たな体験ができる機会としています。今後は、各小学校間の交流がより深まるよう、更に工夫を重ねて参ります。

○ にかほ市二十歳を祝う会について

「令和6年度にかほ市二十歳を祝う会」は、対象者266人のうち192人の参加のもと、1月12日に開催しました。友人や恩師との再会を喜びあう姿が非常に印象的でありました。今年度の式典出席率は73.3%と、昨年度より4.1%上回りました。

○ 白瀬隊遺族からの遺品寄贈について

1月15日、白瀬隊開南丸の運転士の孫で仙台市在住の秋野さんより、船員手帳や試験合格証、石塊など9種類62点の遺品が白瀬南極探検隊記念館に寄贈されました。これらの遺品類は、秋野さんの実家の蔵から発見されたもので、特に石塊は、南極探検の際に採取された石の可能性があるとともに、今後の学術調査を裏付ける貴重な資料と捉えております。

長年継続してきた遺族調査や子孫の集い、書面調査等によって新たな遺品や

資料の寄贈・寄付に繋がってきております。今後も白瀬轟頭彰会、NPO法人白瀬南極探検隊 100 周年記念会と連携し、調査研究並びにデジタルアーカイブ化を進めて参ります。

○ 白瀬中尉をしのぶ集いと関連イベントについて

白瀬南極探検隊が到達点の一带を大和雪原と命名した 1 月 28 日に因んだ、第 58 回雪中行進を開催しました。5 年ぶりに金浦小学校 5・6 年生と金浦中学校 1・2 年生が加わり、賑わいのある行進となりました。自衛隊関係者や白瀬轟頭彰会等の関係者及び一般市民など 170 名の参加がありました。

行進の最終地点の南極公園では、小・中学生の代表から今年の目標や決意の宣誓を行いました。天候の悪化への対処など、今後の安心と安全の提供への検討課題としております。

○ 「方角石と日和山」の県史跡指定について

2 月 4 日、秋田県文化財保護審議会における、県指定文化財の審議が行われ、にかほ市では平沢地区「丁刃森方角石」、金浦地区「沖の島方角石」および象潟地区「蛸満寺方角石」の 3 件を新たな県史跡指定とするよう答申があり、後の秋田県教育委員会告示を経て、正式な指定となります。

これらは、当時の北前船などの舟運文化を理解する上で貴重な史跡であるとして、方角石が現存する日和山を一体的に文化財として保護するものであります。

設置当時の状態を保っている方角石は全国で 15 基にとどまり、今回指定となる方角石はそのうちの 3 基になります。また、本市においては鳥海山の山体崩壊による流れ山の上に設置しているといった特徴も持ち合わせております。

この指定の結果、本市の県指定文化財は 31 件となります。

○ 親子ふれあい体験教室について

2 月 9 日、金浦公民館において、市内小学校の親子を対象に「親子ふれあい体験教室」開催し、親子 21 組 47 人の参加がありました。

生涯学習奨励員が講師となり、墨絵やお茶作法、天然石ブレスレット作りを体験し、最後は参加者全員でバルーンアートのパフォーマンスを見学しました。

親子での体験活動を通して信頼関係と強い絆を築き、子育ての手ごたえと自信を高めることで家庭での教育力向上を図ることを目的として今後も開催して参ります。

○ 公立高校等の入試状況について

秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査は、特色選抜および一般選抜ともに3月5日に実施されます。自身の進路を実現させるために努力を積み重ねてきた生徒たち全員が、笑顔で春を迎えられることを切に願っております。